

# ULTRA-DI DI600P

JP

BEHRINGER ULTRA-DI DI600P のお買い上げ、誠にありがとうございます。DI600P は高性能パッシブ DI ボックスです。

◇ 本ドキュメント最後に記載されている安全に関するご注意も合わせてお読みください。

ステージでもスタジオでも、ある特定の信号を直接ミキサーに接続する方法はないのでしょうか。確かにこの方法は便利ですが、セットアップの で技術的な問題も発生してしまいます。例えば、キーボードにバランス型出力が装備されていることは稀ですし、ギターは高インピーダンス信号となっているため、直接ミキサーに接続することは出来ません。

この DI600P を使えば、アンバランス型の高インピーダンス信号を直接使用することが出来るため、信号を直接ミキサーに流し込むことが可能となるわけです。

## 1. コントロールパネル



図 1: 上面部

- 1 信号接続にはこの **INPUT** (6.3 mm TS) 端子を使用します。
- 2 出力端子 (6.3 mm TS) です。これはアンバランス型のパラレル出力端子となっています。バックラインもしくはモニターアンプの入力端子と接続してください。① および ② の端子は、共にパラレル接続となっているため、**OUTPUT** 端子は **INPUT** 信号の入力端子およびアンバランス型ダイレクト出力端子として使用可能です。後者で使用する場合は、出力端子をモニターアンプの入力端子と接続することが出来ます。
- 3 **OUTPUT (XLR)**: バランス型のマイクレベル出力です。接続の際は、高品質のバランス型マイクケーブルを使用してください。
- 4 この **GND LIFT** (グラウンドリフト) スイッチを使うと、入力と出力の接地を完全に切り離すことが出来ます。機器がどのように DI600P に接続されているかによって、GND LIFT を使ってハムノイズまたはループノイズを除去することができます。GND LIFT スイッチが **LIFT** の位置にある場合、接地は中断されます。
- 5 この **INST/AMP** アッテネーションスイッチを使うと、DI600P の操作レベルを高インピーダンスマイクまたはギター (INST) の低レベル信号から、ギターアンプのスピーカー端子 (AMP) まで一気に増加させることが出来ます (-30 dB)。
- 6 **FILTER** スイッチ: 7.5 kHz (-3 dB)
- 7 シリアルナンバー: DI600P のシリアルナンバーは本機の部に表示されています。

## 2. 使用例

### 2.1 楽器信号の接続

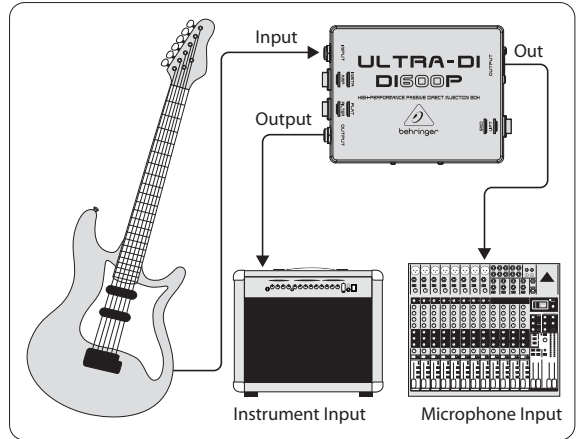


図 2: ギター → DI ボックス → ギターアンプ / ミキサー

上図には DI ボックスの標準的な使用方法が示されています。アンプへの信号は何の処理も施されません。信号はそのまま取り出され、アンプへルートされます。低インピーダンスのバランス型信号はミキサーのマイク入力端子へと送り込まれます。この接続方法は、高い信号レベルを持つ低周波信号を直線的に処理できるマイクがほとんど存在しないことから特にベースギターとの接続に有利となるでしょう。エフェクトを使用する場合は、PA システムおよびレコーディングでモニターできるようにこの DI600P をエフェクト機器の後に接続して下さい。

### 2.2 スピーカー出力からの信号の取り出し

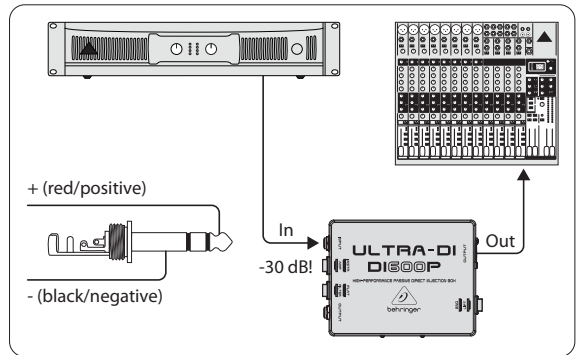


図 3: パワーアンプ出力への接続

たった一つのスピーカー出力しか利用できない状態にあっても、スピーカー出力から直接信号を取り出す必要がある場合には、この DI600P の -30 dB スイッチを利用することで、負荷超による DI600P の損傷を気にする必要なく、ミキサーをアンプ出力 (3,000 W / 4 Ohm) に接続することが可能となります。

◇ チューブアンプを使用している場合は、スピーカーやこれと同様の抵抗を **OUTPUT** (6.3 mm TS) 出力へ接続してください。



- ◇ スピーカーコネクタへ接続する前に、GROUND LIFT スイッチが LIFT (接地されていない状態) になっていることを確認してください。これはアンプ出力のショートを防ぐためのものです。さらに、入力コネクタのチップは、スピーカーコネクタの赤色でマークされた部分に接続するようにして下さい。その際 DI600P の金属部が他の機器に触れないようにご注意ください。

### 3. 技術仕様

周波数レスポンス	40 Hz (-3 dB) ~ 20 kHz
THD+N (歪み率)	0.003% @ 1 kHz、 入力レベル +4 dBu
入力	6.3 mm TS フォンジャック、 アンバランス型
レベル変更 (入力から出力へ)	-20 dB
出力	XLR バランス型; 6.3 mm TS フォンジャック、 アンバラ
インピーダンスレシオ (入力から出力へ)	110 : 1
フィルタースイッチ	ローパス @ 7.5 kHz (-3dB)
Inst/Amp スイッチ	30 dB Pad
寸法 (高さ x 奥行 x 幅)	35 x 95 x 128 mm
重量	約 0.3 kg

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

JP 安全にお使いいただく  
ために

取扱説明書を通してご覧ください。

取扱説明書を大切に保管してください。

警告に従ってください。

指示に従ってください。

本機を水の近くで使用しないでください。

お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER、KLARK TEKNIK、MIDAS、BUGERA、および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,  
Road Town, Tortola, British Virgin Islands